

### バンダイこどもアンケートレポート Vol.253

## 「子どもの防災に関する意識調査」結果

- TOPIC①: 「地域の避難場所と、家族の集合場所」を知っている子どもは約3人に1人。  
「自宅の非常食の場所」を知っている子どもは約5人に1人。
- TOPIC②: 子どもと災害時の集合場所や連絡手段についてしっかり話し合っている家庭はわずか約6%。  
話し合うタイミングは「他の地域で災害があった時」「防災訓練を行った時」が多い結果に。
- TOPIC③: 子どもが体験したことのある防災訓練で最も多いのは「避難訓練」。  
避難するときに持っていくものは「スマホ・携帯電話」「お金」など現実的な声も多数。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:川口勝)は、子どもの「防災」に対する意識の実態を探るため小学1年生～6年生、中学1年生～3年生の子どもを持つ親\*900人を対象に、「防災に関する意識調査」を実施しました。

調査結果を以下の通り発表いたします。<実査期間2019年7月5日(金)～7日(日)> ※子どもと一緒に回答できる方

TOPIC①: 「地域の避難場所と、家族の集合場所」を知っている子どもは約3人に1人。

「自宅の非常食の場所」を知っている子どもは約5人に1人。

【各家庭で行っている防災対策/子どもが知っている家庭の防災対策について】(複数回答 n=900)

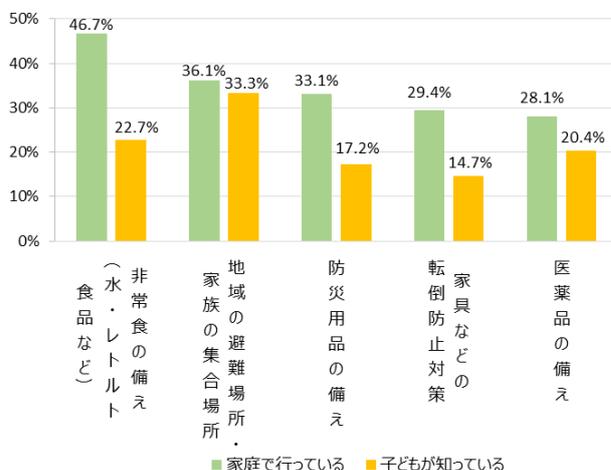
各家庭で行っている防災対策TOP5		
1位	非常食(水・レトルト食品など)を備えている	46.7%
2位	地域の避難場所と、家族の集合場所を確認している	36.1%
3位	防災用品を備えている	33.1%
4位	家具などの転倒防止対策をしている	29.4%
5位	医薬品を備えている	28.1%
	特になし	28.4%

子どもが知っている家庭の防災対策TOP5		
1位	地域の避難場所と、家族の集合場所	33.3%
2位	自宅の非常食の場所	22.7%
3位	災害時の家族の連絡先・連絡手段	22.0%
4位	自宅の医薬品の場所	20.4%
5位	自宅の防災用品の場所	17.2%
	特になし	46.1%

※「各家庭で行っている」及び「子どもが知っている」防災対策の内容を元にランキング

各家庭の防災対策と、子どもが知っている家庭の防災対策の内容について聞いたところ、子どもが知っている家庭の防災対策の1位は「地域の避難場所と、家族の集合場所」(33.3%)、2位「自宅の非常食の場所」(22.7%)、3位「災害時の家族の連絡先・連絡手段」(22.0%)となり、「避難場所や集合場所」を知っている子どもは約3人に1人、「自宅の非常食の場所」を知っている子どもは約5人に1人ということがわかりました。また、各防災対策について、実際に家庭で行っている割合と、子どもが知っている割合を比較すると、「非常食の備蓄」では、子どもが備蓄の場所を知っている割合は、備蓄を行っている割合の半数にも満たない結果となりました。対して、「避難場所や家族の集合場所」については、家庭で確認を行っていると回答した割合が36.1%に対し、子どもが知っている割合は33.3%で、親子のコミュニケーションを必要とするものに関しては互いに同程度の認識を持っていることがわかりました。

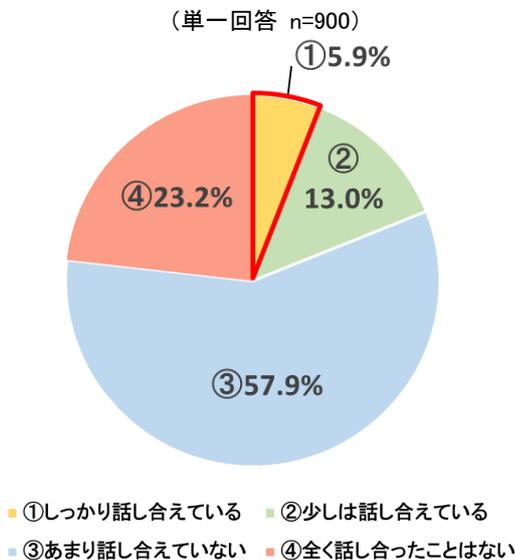
### 【各家庭で行っている防災対策と子どもが知っている家庭の防災対策のギャップ】



**TOPIC②: 子どもと災害時の集合場所や連絡手段についてしっかり話し合えている家庭はわずか約6%。**

**話し合うタイミングは「他の地域で災害があった時」「防災訓練を行った時」が多い結果に。**

**【防災対策における家庭での話し合い状況】**



**【防災対策について家庭で話し合うタイミング】**

(複数回答 n=170)

小学生TOP5		n=102
1位	学校などで防災訓練を行ったタイミング	47.1%
2位	身近な地域で災害があった時	43.1%
3位	他の地域で災害があった時	34.3%
4位	防災の日(9月1日)の前後	19.6%
5位	夏休み・冬休みなど長期休暇のタイミング	9.8%
中学生TOP5		n=68
1位	他の地域で災害があった時	58.8%
2位	学校などで防災訓練を行ったタイミング	39.7%
3位	身近な地域で災害があった時	32.4%
4位	日頃から定期的に話し合う	20.6%
5位	防災の日(9月1日)の前後	8.8%
	夏休み・冬休みなど長期休暇のタイミング	
	進級・進学タイミング	

親に、災害時の集合場所や連絡手段について子どもと話し合っているかどうか聞いたところ「しっかり話し合えている」と回答した家庭はわずか5.9%で、「全く話し合ったことはない」と回答した家庭が23.2%いることがわかりました。「しっかり話し合えている」(5.9%)と「少し話し合えている」(13.0%)と回答した人を合わせても、2割に満たないことから、家庭内で防災対策について納得のいく話し合いができていない家庭は少ないことがうかがえます。また、「しっかり話し合えている」「少し話し合えている」と回答した人に、どのようなタイミングで話し合うことが多いか質問したところ、小学生の子どもがいる家庭は、1位「学校などで防災訓練を行ったタイミング」(47.1%)、中学生の子どもがいる家庭は、1位「他の地域で災害があった時」(58.8%)となり、学齢が上がると、身近な出来事に加え、ニュースなどをきっかけに話し合うことが増えるのではないかと推察されます。

**TOPIC③: 子どもが体験したことのある防災訓練で最も多いのは「避難訓練」。**

**避難する時に持っていくものは「スマホ・携帯電話」「お金」など現実的な声も多数。**

**【子どもが体験したことのある防災訓練】**

(複数回答 n=900)

総合TOP5		
1位	避難訓練	58.9%
2位	着衣泳(衣服を身に着けたまま泳ぐ訓練)	22.2%
3位	地震体験(起震車などで地震の揺れを体験)	22.0%
4位	防災に関する映像の視聴	17.9%
5位	消火訓練(消火器の使い方)	17.7%

**【避難時に持っていくもの】**

(単一回答 n=900)

総合TOP10		
1位	携帯・スマートフォン	20.7%
2位	お金・財布	13.3%
3位	飲み物	7.0%
4位	お菓子、食料	6.2%
5位	防災セット	5.1%
6位	ゲーム機等のおもちゃ	4.8%
7位	ランドセル、リュック、鞆	3.9%
8位	懐中電灯・ライト	3.1%
9位	靴	2.2%
10位	ぬいぐるみ	2.1%
	何も持たない	8.9%
	わからない	7.3%

子どもに、実際に体験したことのある防災訓練について質問したところ、1位「避難訓練」(58.9%)、2位「着衣泳」(22.2%)、3位「地震体験」(22.0%)、4位「防災に関する映像の視聴」(17.9%)、5位「消火訓練」(17.7%)という結果になり、被災時における実践的な訓練が多くランクインしました。また、子どもに被災時に何を持って避難するか聞いたところ、1位「携帯・スマートフォン」(20.7%)、2位「お金」(13.3%)、3位「飲み物」(7.0%)など、実際の被災時を想定した実用的なものが多く見られました。

## 【バンダイからのコメント】

今回の調査では、9月1日の「防災の日」に向けて、お子さまの防災に対する関心や意識の実態を探るため、「小中学生の防災に関する意識調査」を行いました。

家庭内での防災対策については、全体の7割程度の家庭が何かしらの対策をしている中、家庭内で話し合えているか、という質問では、「しっかり話し合えている」という回答は5.9%と想定よりも少なく、防災に対する意識はありつつも、家族で話し合う場を設けられていない実情が感じられました。

「しっかり話し合えている」と回答した方たちの中では、被災時の「家族の集合場所」や「連絡手段」などを「具体的に決めている」という回答が多く見られました。実際に災害が起きた時に、日頃から防災対策を行っていることや、家庭内で話し合いをしていることはとても重要だと思います。「防災の日」などをきっかけに、お子さまと一緒に防災対策について考えていただければと思います。その際、各省庁や各自治体などが運営している情報サイトなどを活用すると良いかもしれません。

<ご参考>

### 防災に関する情報のサイト

●防災教育ポータル／国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/>

●防災マニュアル／消防庁

[https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai\\_manual/](https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/)

●地図で学ぶ防災ポータル／国土地理院

[https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUJIKU/chizudemamabu\\_bousai.html](https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUJIKU/chizudemamabu_bousai.html)

## ■調査概要

【調査目的】子どもの「防災」への関心や意識・実態を探る

【調査地域】全国（調査時、大雨による被害が発生していた宮崎県、鹿児島県を除く）

【対象者条件】小学1年生～6年生、中学1年生～3年生の子どもを持つ親（25歳～59歳）

※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】インターネット調査（協力：株式会社クロス・マーケティング）

【実査期間】2019年7月5日（金）～7月7日（日）

【サンプル数】900人

【本調査構成】

	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生
男子	50人								
女子	50人								

こどもアンケート：<https://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイ公式サイト：<https://www.bandai.co.jp/>